

令和4年度版 仙台市職員募集ガイド・ポスターのコンセプトの方向性について

1 現状

本市職員には、人口減少や少子高齢化等、社会・経済情勢が厳しさを増している中で、これからも輝き続ける仙台市をつくるため、「杜の都」ならではの市民の暮らしの質に磨きをかけ、常に都市としての高みを目指し、挑戦を続けていく姿勢が求められます。

本市の目指す職員像は、「誇りを胸に仕事に取り組む職員」「多様な主体と協働する職員」「新しいことに果敢に挑戦する職員」「互いの価値観を尊重して共に成長する職員」です。この職員像に合致した高い意欲と資質を有した優秀な人材を獲得したいと考えています。

一方で、新型コロナウイルス感染症による経済への影響が長期化し、景気の先行きが不透明な状況の中、民間企業のみならず、官公庁においても2021年度の国家公務員試験(一般職・総合職)では試験の申込者数が過去最低を記録するなど、厳しい採用状況が続いています。本市職員をとりまく環境も例外ではなく、志願者数の確保は切実な課題であり、そのやりがい、活躍できるフィールド、働きやすさ、ワークライフバランスなどについてより具体的に提示し、魅力的な就職先として選ばれる工夫を行う必要があると考えています。

特に、技術系職種(土木・建築・機械・電気)は低倍率の状況が続いており、これらの職種の民間企業にはない仕事のやりがいを特集すると共に、庁舎の建替え計画など、これから自分自身が働く職場環境はより良い方向へ改善されるという明るい展望を見せることで、すべての読者に本市の魅力積極的にPRする必要があると考えております。

2 方向性

本市では、新卒者はもちろん、将来の進路を考え始めたばかりの方や、転職を考えている即戦力となるような方にも、広く「仙台市役所で働く魅力」を強くPRしたいと考えています。

そして、現在本市職員として第一線で活躍している様々な職員のリアルな声を届けることによって、実際に本市で働くイメージを読者に与え、本市職員志望者を増やしたいと考えています。

そこで、令和4年度版の職員募集ガイド制作にあたって、当課が読者に対して、特に伝えたいことは「これからの仙台市をつくっていくのは自分たちだ。」という、積極的で強い思いを持った挑戦心あふれる人材を求めている、その人材とはまさに今ガイドを手にして読者自身であること、そしてそのために「仙台市職員として働くこと」についての仙台市職員のリアルな姿を見て、その声を聴いてほしいということです。

その他、制作の上で、意識していただきたいことは下記のとおりです。

- ① 「仙台市役所で働くことの魅力」を多角的な視点からアピールすること。
- ② ワークライフバランスの実現が図れる職場環境であることを大きく打ち出し、読者の共感を得るとともに、将来仙台市役所で働く姿を具体的にイメージしてもらえらること。
- ③ 仙台市役所の事業や業務内容が十分に伝わるものであること。
- ④ 職員が携わる仕事は、読者が考えている以上に多種多様であり、自身の能力と個性を活かせる仕事を見つけることができると知ってもらうこと。

また、募集ガイドの表紙・ポスターのデザインについては、

- ① 過去のガイド・ポスターのイメージを一新するものであること。
- ② 人目を引きつけるクールなデザインであること。
- ③ 「市役所で働くこと」「就職先の一つとしての市役所」を強く意識させ、「仙台市で働くことの魅力」をPRするもの。であることを求めます。